

連盟だより・さいたま

S A I T A M A

第28号

平成27年8月8日発行

あいさつ

埼玉県看護連盟

会長 佐藤 澄子

平成27年度埼玉県看護連盟通常総会も会員皆さま方のご協力のもと無事終了し、可決した活動計画に則り始動しはじめました。

今年の活動の柱は、日本看護連盟通常総会に於いて、たかがい恵美子議員を第24回参議院選挙の候補予定者として決定したことを受け、「確実な後援会名簿を目標数集める」ことです。

連盟会員を中心とした後援会活動から支援者の輪を拡大していく方針ですのでご理解とご協力をお願いいたします。

埼玉県でも2025年を見据えた地域医療構想が動きだしています。増床計画、地域医療を支える看護師不足にいかに対応するのか？ 准看護師教育問題も含めて看護連盟活動もナースセンター事業を含め真価を発揮するときです。基金の運用にもより高い関心を持ち、積極的に発言力を持ちたいものです。それは「今でしょう」

Contents

- 埼玉県看護連盟会長あいさつ 1
- 日本看護連盟会長あいさつ 2
- 埼玉県看護協会会長あいさつ 2
- 国会議員、市議会議員あいさつ 2・3
- 総会報告 4
- 新旧交代役員あいさつ 4
- 会員の声(総会・講演会に参加して) 5・6・7
- お知らせ 8



看護の心を、
みんなの心に

会員数	3,878人	(保健師 147人 助産師 109人)
		(看護師 3561人 准看護師 61人)
賛助会員数	23人	(平成27年7月31日現在)

ご挨拶



日本看護連盟会長 草間 朋子

来る6月2日、平成27年度の日本看護連盟の総会を2000名近い会員の皆さまのご参加の下で、無事終えることができました。活力、熱気あふれる総会は力強い連盟を印象付けることができ、今後の活動のパワーとエネルギーをいただきました。総会では、来年夏の第24回参議院選挙における候補予定者たかがい恵美子氏を満場一致で決定していただきました。二期目を目指す、たかがい議員を高得点で国政の場に送ることが連盟の今年の大きな目標です。

少子超高齢社会が加速される中、「チーム医療のキーパーソンは看護職である」と言われてから久しくなります。看護職がキーパーソンであるためには、「看護職が輝く」医療看護の環境を整えていかなければなりません。このためにも、政治の力が不可欠です。

「元気」「活気」「勇気」「根気」をもって、看護政策の実現に向かって一致団結し「連盟の力」を発揮してまいります。



埼玉県看護協会会長 熊木 孝子

過日の、平成27年度埼玉県看護連盟通常総会が盛大に開催されましたことを心からお祝い申し上げます。

また、昨年のも木村弥生氏ならびに本年のさいたま市議会議員稲川さとみ氏の当選につきましては埼玉県看護連盟の多大なご努力の賜物と敬意を表します。

さて、埼玉県は全国で最も早いスピードで超高齢社会へと進んでおります。この社会情勢を鑑み、看護もいま大きな転換期を迎え、「県民の暮らしと生活を支える」ことを念頭に置き、特に地域においては質の高いケアの提供が求められ、今後ますます看護の役割拡大が期待されております。

この様な状況の中で埼玉県におきましては、いま大変大きな問題が浮上しております。それは准看護師養成校の新たな設立です。先ほども述べました通り、特定行為に係る看護師の研修制度がスタートする一方で、准看護師養成が始まろうとしております。埼玉県は既に16校の准看護師養成校が既存しており、全国最多となっております。准看護師養成につきましては県知事の認可です。何とかこれ以上の乱立を防ぐためにも、今後も埼玉県との検討は継続していく所存でございます。そして、看護師不足だからといって、「質より量」を認めるわけにはいきません。

私たち看護界の山積している課題を解決していくためには、私たち看護職の職能団体の代表である議員の皆さまをはじめとし、看護協会・看護連盟が一枚岩となって、これからの看護・看護の質がどうあるべきかを真剣に考えていくことが重要であると考えております。今後も連盟会員の皆さまのお力添えをいただきたく、よろしく願い申し上げます。



厚生労働大臣政務官 参議院議員 たかがい 恵美子

季夏の候、埼玉県看護連盟の皆さまにおかれましては一際健やかに御精励のことと存じます。私も厚生労働大臣政務官を二期連続で務めさせていただいており、参議院議員としての任期も残り1年をきってまいりました。これもひとえに、国民福祉の向上を願う看護職同志並びに志を共に活動を続けてくださる皆さまの御支援の賜と心から感謝いたしております。

さて本年は、敗戦後70年、阪神淡路大震災後20年、東日本大震災についても発生から5年目を迎えています。この歴史的な節目にあたり私は、建物や街路・生業の再建のみならず、一人ひとりの心情と地域・家庭・学校や商店街の賑わいが一体となって初めて‘復興’と言える日が来るのではないかと感じています。そして看護は、その前提となり安定を維持するための重要な社会基盤であると考えています。この揺るぎない信念のもと、全国津々浦々で活躍する看護職一人ひとりが、存分に輝けるようになるための政策づくり・仲間づくりに邁進する所存です。

さらにこれからの日本は、成熟した外交関係を構築し世界の平和に貢献することが一層重要となります。“人の生きる力を守る看護のパワーを、社会の生きる力を創り出す政治に活かす”この精神で、皆さまと共に、がんばります。



衆議院議員 あべ 俊子

いつも温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。

現在、農林水産副大臣として、国内外への視察や各種会議への出席・発言を通して、日本の農林水産分野の発展、農山漁村や中山間地域の振興のため全力で取り組んでいます。

延長が決定された第189回通常国会は、平和安全法制に関する議論がなされるなど活発な動きをみせています。

本国会では以前から取り組んできた、看護学校など高等学校専攻科の修了生が大学に編入できないという問題の関連法案が衆議院で可決されました。解決へ向

けて大きく動きます。

看護をめぐる課題はまだ多くありますので今後も気を引き締めて政策の実現に努めます。

今後とも皆さまの温かいご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



参議院議員 石田 まさひろ

埼玉県看護連盟の皆さま、平素よりお力添えを賜りありがとうございます。

第189回通常国会は、多くの重要法案をかかえ戦後最大の延長95日、会期末は9月27日となりました。

6月に自民党がとりまとめた「規制改革の推進に向けた提言」の中に、「高齢者等が自宅でより安心して日常生活を送れるようにするため、訪問看護ステーションの開設要件や死亡診断書交付要件の見直しを検討すべきである」という文言が盛り込まれました。

また、「財政再建に関する特命委員会報告（最終報告）」では、医療・介護従事者の待遇の適正化、看護を含む医療関係職種の質評価・質向上や役割の見直しが入れ込まれました。

これからも看護の現場に足を運び、質の高い看護を目指して、私もしっかり活動をしてまいりますので引き続きのご支援をお願いいたします。



衆議院議員 木村 弥生

埼玉県看護連盟の皆さま、木村弥生です。日本看護協会の広報部、政策秘書室長を経て昨年12月の総選挙で北関東比例ブロックより初当選しました。

衆議院では厚生労働委員会に所属しています。看護系国会議員として、看護を軸に、看護職と看護の発展に寄与する政策実現に取り組んでまいります。自民党では、女性活躍推進本部のメンバーです。柔軟で多様な働き方の推進が、看護職の労働環境改善の後押しにつながると信じ、がんばります。

そしてこのたび埼玉県連所属となったことをご報告させてください。佐藤澄子会長のご指導の下、現場の皆さまの心に寄り添える政治家でありたいと思います。どうぞ、よろしく願い申し上げます。



さいたま市議会議員 稲川 さとみ

埼玉県看護連盟の皆さまにおかれましては、ご健勝ご活躍のこととお慶び申し上げます。

先の統一地方選挙でさいたま市議会議員として初当選することができました。選挙に際しましては佐藤会長はじめ看護連盟の方々から多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。初の看護職の議員として期待をいただき、看護の課題解決にむけて地道に取り組んでいく所存です。さいたま市議会では保健福祉委員会に所属し、看護の専門性を発揮できる議会活動ができる機会をいただきました。地域の皆さまの声を政治に届け、保健福祉の環境改善に取り組むとともに、パイプ役として看護連盟の活動に役立てていただければと思っております。何卒よろしく願いいたします。

平成27年度 日本看護連盟通常総会代議員報告 副会長 高山 ちづ子

平成27年度日本看護連盟総会が6月2日、東京プリンスホテルで開催された。

参加者は、総数1945名、内代議員925名、役員13名、会員1007名であった。(埼玉県からは代議員18名、会員71名)

冒頭、草間朋子日本看護連盟会長が挨拶に立ち、昨年は「医療・介護一括法案が成立し67年ぶりに看護業務の一部改正が行われた画期的な年であった。今年はこの実行に移す年である。これら法改正はあべ俊子議員、たかがい恵美子議員、石田まさひろ議員の一方ならぬ働きと関連議員の協力の賜物である。

昨年末の総選挙では北関東比例区より木村弥生議員も誕生した。2025年問題が目前に迫った今こそ組織代表の看護職議員の活躍が強く求められており、看護連盟の力を結集して支援体制を強化していきたいと力強く挨拶された。

審議事項として

第一号議案	名誉会員の推薦
第二号議案	平成27年度スローガン
第三号議案	平成27年度活動計画案
第四号議案	平成27年度予算
第五号議案	選挙対策案として、たかがい恵美子議員を第24回参議院選挙の候補予定者とする
第六号議案	役員選出の議案が可決成立した。

平成27年度 埼玉県看護連盟通常総会

幹事 水上 美津子

6月27日(土)9時20分よりラフレさいたまにおいて開催され、出席会員199名、委任状2935名、役員10名、合計3144名で総会が成立した。

開会式では佐藤澄子会長が、衆議院議員選挙で北関東比例ブロックから初当選した木村弥生氏が、自民党埼玉県連所属となったことが紹介され、平成28年の夏に控えた第24回参議院選での看護職を代表する候補予定者に決定した、たかがい恵美子現厚生労働大臣政務官を高い投票数での当選を果たすために、看護連盟会員の組織率を高め、確実な投票行動に繋がる選挙対策について熱く語られた。来賓祝辞では日本看護協会会長、埼玉県看護協会会長、国会議員、看護団体来賓の方からも祝辞を頂いた。看護連盟活動に貢献された7名(上林星子・倉上文字・河野三重子・斉藤栄子・関口幸子・藤山トキ・松本恵子)の方に感謝状が贈呈された。議長の鈴木美香・橋野イケコ両氏の進行により事業報告・決算報告が承認され、審議事項のスローガン・活動計画・予算案・第24回参議院議員選挙対策・役員選出及び平成28年度日本看護連盟代議員の選任について可決された。

また、ロビーでは「気仙沼産わかめの販売による復興支援」が行われ、参加者は朝届いたばかりの新鮮なわかめを購入し完売となった。

平成27年度 新旧交代役員あいさつ



埼玉県看護連盟 元幹事
佐々木 たい子

埼玉県看護連盟幹事として一期3年間任務を仰せつかり活動させていただきましたことを埼玉県看護連盟役員、各支部役員、会員の皆さま、関係各位に心より御礼申し上げます。

看護連盟活動において我々の職務を遂行するには政治が大きく関わっており、決定したことに従事するのではなく、自らの意見・現場の声を連盟主催のイベント等に参加し国会議員へ伝えることで政治活動の理解を深めながら業務に就くことができるようになります。

看護の将来ビジョンが日本看護協会より公表されましたが、2025年問題が間近に迫っており、医療・福祉の体制の整備を含め急速な改善が必要です。私たちの職能団体が重要な役割を果たし、やりがいを持ちながら輝いて活動できることを願っています。今後、地方看護連盟会員として活動に参加していく所存です。会員の皆さまのご活躍とご繁栄を祈願しております。



埼玉県看護連盟 幹事
竹内 良子

今年度より看護連盟の幹事をお受け致しました。幹事としての活動は初めてで、役割を果たすことができるのか不安が一杯です。しかし6月27日に行われました連盟総会では、佐藤会長をはじめ、執行部の皆さまから「ベッドサイドから政治を変える！」スローガンの元、連盟の果たす役割、具体的な目標とそれに向かう道筋が明確に示されておりました。その道筋にそって役割を果たすことができるよう、役員や諸先輩の皆さま、会員の皆さまにご指導いただきながら、努力してまいります。

どうぞよろしくお願いたします。

講演会

「看護と政治」

日本看護協会坂本すが会長を講師にお迎えし、1. 今、社会でどのような変化が起きているのか
2. 地域包括ケアシステム構築に向けた日本看護協会の取り組み 3. これからの看護～看護の将来ビジョン～について講演をいただいた。地域における医療介護総合確保推進法が成立し特定行為に係る研修、ナースセンターへの届け出が制度化されたことについて、看護業務に「判断力」が記されたことが保助看法成立以来歴史的な出来事であることについて、閣議決定にあたっては、「看護の持つ票が大きな力」となったと語られ、4人の看護職の国会議員の活躍が期待されること、また、看護政策を実現するためにより多くの得票で当選した看護職の議員を国会に送り、政治力を高めることが不可欠であり、看護連盟の活動が政策実現の両輪であることを熱く力強く話された。



会員の声

第1支部 埼玉県看護連盟通常総会に参加して

光の家療育センター 横田 園子

療育センターに勤務している私は、日々利用者の支援を行っています。今回、総会に出席できたことは、日頃多職種とチームで業務を行っている中で、同じ職業ならではの問題や悩みを共有できたのではないかと思います。そういう意味でも、とても刺激になるよい機会でした。

看護連盟とはどのような役割を担っているのか、今まではよく理解できていなかったが、日本看護協会坂本すが会長や埼玉県看護連盟佐藤澄子会長の力強い話を目のあたりにして、看護職には連盟の役割（政治との関わり）が必要であることがよくわかりました。また、会場にて東日本大地震復興支援の一環として、現地のわかめ販売をするなど行動を起こし、活動していることに共感することができました。

私達は、日本看護連盟という母体のもとに守られているという安心感でいっぱい総会でありました。

第2支部 埼玉県看護連盟通常総会に参加して

埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター 飯田 光延

平成27年度埼玉県看護連盟通常総会が、ラフレさいたまに於いて盛大に執り行われました。坂本すが日本看護協会会長をはじめ多くの来賓者、看護職者総勢200名を超え、会場は熱気に満ちあふれていました。

私事ですが、勤続16年目にして初めての参加となりました。恥ずかしながら看護連盟がどのような組織なのか詳しく知りませんでした。今回、坂本すが会長の講演「看護と政治」を拝聴し会長は「政治なくして看護はあり得ない」と断言していました。数年後に迫る超高齢化社会については地域包括ケアシステムの構築。慢性的なマンパワー不足に関しては労働環境の整備など課題は山積されているのが現状です。

私達「個」の力では問題解決できませんが、連盟が推薦する国会議員の力を借り現状打破できる日が来ることを願っています。その為には、我々看護職が一致団結し一人でも多く有識者を国政の場に送り届けることが必要不可欠であると実感しました。

第3支部 埼玉県看護連盟通常総会に参加して

自治医科大学附属さいたま医療センター 金子 美和

2025年、4人に一人は高齢者になると言われています。そのような中で、健康で幸福でありたいというニーズは誰もが持つものであると思います。今回の坂本すが日本看護協会会長の「看護と政治」の講演を聞き、看護師は人の持つ強みを活かし、自立度を高め、そのニーズに応えることのできる素晴らしい仕事であると改めて思いました。

しかし、長期化・複雑化していく健康問題へと向き合うには、より看護の質を向上させ、労働環境を整えることが必要であると思いました。そして、これらは個々の努力だけで解決していくのではなく、看護における政治力を活かした制度や政策が基盤にあってこそなのであると知りました。

看護師1年目を終えほっとしているところではありますが、今まであまり関心を持っていなかった看護を取り巻く政治の動向や社会の状況などを少しずつ知ることから始めたいと思います。

第4支部 埼玉県看護連盟通常総会に出席して

獨協医科大学越谷病院 岸谷 めぐみ

医療業界は、限られた財源と人員で日々命と向き合っている。病棟という狭い空間の中で多忙に働く私たちは、社会との繋がりに触れる機会は少ないと感じる。今回、総会への参加をきっかけとして、女性の政界への進出が著しいことをはじめとして、看護師が議員として政治に関わっていることが、医療と社会を繋げる架け橋となっていることを改めて学んだ。医療現場の実態を知るとは、携わる人にしか分からない部分も数多くあると日々感じている。高齢化社会が進む現代において、質の良い医療を維持するために、そして安心して暮らしていける社会にできるよう、今置かれている医療現場の実態を発信することの大切さ、そしてそれを社会全体で考えていくことが必要となっている。この活動を支えるのは私たち会員であり、政治活動や選挙運動への参加を通して連盟の働きかけに貢献していきたいと考える。

第5支部 埼玉県看護連盟通常総会に参加して

済生会 川口総合病院 加藤 裕子

6月27日(土)ラフレさいたまにて「平成27年度埼玉県看護連盟通常総会」が開催された。県内各区の国会議員の方々を来賓に迎え、多くの祝辞を頂き大盛況であった。

看護連盟は、「ベッドサイドから政治を変える！」をスローガンに掲げ、看護職の地位向上、そして環境改善を目的に活動を行っている。国会に現場の声を伝えるために、各議員との連携を大切にしている。そして、現場の声に強みと深みを出すために、連盟加入者数の確保が支援体制の強化につながると改めて感じた。

坂本すが会長の講演では、現社会において、認知症や慢性疾患を抱えた高齢者は増加の一途をたどっている。そのため、「時々入院、ほぼ住宅」を進めるために、日本看護協会は、地域包括ケアシステムの構築にも取り組んでいる。そして、これからの看護職は、病院や施設を中心とした医療ではなく、住宅・地域医療サービスといった、生活の質を提供する体制の構築が早急に必要になることを学んだ。

第6支部 「私たち看護師の近い将来を考える」

深谷赤十字病院 古澤 梨枝

今回初めて埼玉県看護連盟の通常総会に参加し、日本看護協会会長 坂本すが氏の講演を聞き危機感を覚えました。10年後の日本は超高齢化・多死社会となり、受療率が高くなり病院や医療者の数が不足し対応困難となります。すでにスイスやオランダでは安楽死が認められており、日本でも患者の望む最期を選択できる日が来るかもしれません。今から将来に向けて、我々看護師はどのように学習していけば良いか考える機会となりました。

今まで私は看護師として自分の生活しか考えていませんでした。今後は日本の看護師がどう変わっていくべきか、政治や法律、各制度の改定を真剣に考えていきたいと思えます。



第7支部 埼玉県看護連盟通常総会に参加して

上尾中央総合病院 青木 かおり

まず、私が感じたことは「看護師はパワフルだ」ということです。坂本すが先生をはじめ、どの参加者、どの役員を見ても、生き活きと輝いているオーラが見えました。そして看護師が元気だと日本が元気になるというのは本当のことだろうと感じました。

それは、看護師が、一番患者に近いところから人々の笑顔と幸せを支えているためだと思います。つまり、患者だけでなくその周りの人々にも看護師の元気を分け与えることができるためです。

また、社会では10年後の2025年問題がとりあげられています。小学校では子どもたちが「10年後の自分たちへ」というテーマで夢を語っています。私は、2025年に高齢者が増えるということの問題として捉えるのではなく、子どもたちと同じように夢をいかに現実にするか、そして楽しむかが大切なことだと思います。そのために、元気な看護を送り届けられる社会を作り、夢をかなえられる人々と生き活きと過ごす高齢者を増やしていきたいです。

第8支部 総会・講演会に参加して

所沢ロイヤル病院 西川 紀子

総会では、平成27年度スローガンとして、「ベッドサイドから政治を変える！」～看護職国会議員を擁立し当選を勝ち取る～が掲げられた。自分の役割として、看護職を国会に送るために確実な票を獲得しなければならないことを実感した。

日本看護協会の坂本会長の「看護と政治」について講演を聞き、今後、少子高齢化が急速にすすみ医療は在宅・地域医療へとシフトしていく社会で、より看護職の役割が重要となることを再認識した。より多くの看護師を養成し、資質の向上を図るために研修制度を充実する必要があると思う。そのために、新たな財政支援制度（基金）の計画に看護の事業を盛り込むことが重要であることもわかった。これからも日本看護協会と日本看護連盟は、看護政策の実現に向けて連携して組織的に活動していくことが重要である。坂本会長の看護に対する思いに応えるように自分の役割を果たしていきたいと思う。

第9支部 埼玉県看護連盟通常総会に参加して 埼玉医科大学国際医療センター 岡野 美由樹

6月27日ラフレ埼玉で行われた「平成27年度埼玉県看護連盟通常総会」に参加してきました。会が始まるとまず、会員の皆様 来賓の議員の方々の熱気に圧倒されました。正直に申しますとこれまで看護連盟の活動について深く理解していませんでしたが、議員の諸先生方、埼玉県看護連盟の佐藤澄子会長や日本看護協会の坂本すが会長の話を伺い、私たち看護職の代表を国政に送ることがとても重要で、看護師の地位向上、看護制度改革や労働条件の向上、長く働き続けられるための環境作りのための活動がなされているということが理解でき、今の看護が私たちだけの力で成り立ったのではなく、そういった政治的関わりと沢山の働きかけにより初めて成り立っているのだということが理解できました。これらのことを、病棟のスタッフに、特に若い人たちにも理解してもらい、多くの人に入会してもらえたらと思いました。そのためには、大それたことはできませんが、自ら研修等に参加し、興味を持ってもらえるような働きかけを行い、自分にできることは何かを考え貢献していきたいと思っています。

今回、総会に参加することで政治と看護についてのつながりを考える機会を与えていただいたこと、深く感謝いたします。

第10支部 埼玉県看護連盟通常総会に参加して

秩父市立病院 角田 明美

この度、6月27日ラフレさいたまにて、平成27年度埼玉県看護連盟通常総会が、開催されました。毎年多くの議員の方々に力のこもった挨拶をいただき、嬉しく思いました。更に今年は、日本看護協会の坂本すが先生に「看護と政治」という題で講演いただきました。

2025年問題や、地域包括ケアシステムに向けた取り組みなど、興味深い内容でした。病院中心から在宅・地域医療へのシフトが大切であるとのこと。認知症の人も安心して暮らせるまちづくり支援などは、日々の業務の中でも痛感するところです。特に、私達の地域はより高齢化の中にいると感じます。病気が治っても、自宅に帰ることができず、病院、施設を転々と回りながら過ごしている方もいます。穏やかな最後を迎えるため、より質の高い看護が提供できるよう日々努力していく必要があると捉えて、これからの連盟活動をすすめていきたいと考えています。

第11支部 埼玉県看護連盟通常総会・研修会に参加して

慶和病院 佐藤 昌子

埼玉県看護連盟に入会し2年を迎えました、看護連盟主催の総会・研修等に参加し、テーマである「ベッドサイドから政治を変える」まさに、日々ベッドサイドに立つ看護職の私達だからこそ、伝え、行動しなくてはいけないと実感しています。これからも、看護連盟の活動を通し、常に政治に関心を持ち、今、私達に何ができるかを考え、行動していきたいと思えます。



◇ お知らせ ◇

リーダー研修会 I

対象：支部役員、リーダー、施設連絡員
日時：平成27年10月9日（金） 14:00～16:00
場所：ブリランテ武蔵野 サファイア

ポリナビワークショップin埼玉

対象：若手会員・若手非会員・学生会員
日時：平成27年11月21日（土） 14:00～17:00
場所：フレンドピア（川口駅前市民ホール）

国会・首相官邸見学会

対象：会員・賛助会員
日時：平成27年10月23日（金） 10:00～
場所：国会議事堂・首相官邸・参議院議員会館

たかがい恵美子政策推進集会

対象：会員・非会員・賛助会員
日時：平成27年12月19日（土） 午後で調整中
場所：ラフレさいたま櫛の間

平成27年度会員募集中

- * 会員・特別会員 8,000円(連盟本部会費：5,000円 県会費：3,000円)
- * 学生会員：会費 無料 * 賛助会員：会費 1,000円

■ 問合せ先：埼玉県看護連盟 電話：048-824-8153

編集後記

日頃、「連盟だよりさいたま」をご愛読いただきありがとうございます。看護連盟活動や来年の選挙に向けて益々高まっていく各支部活動、多くの会員の皆さまの声をご紹介したいと思います。連盟会員を増やし現場の声を国政に届けていきましょう。今後とも連盟活動へのご支援をお願い申し上げます。（広報 長澤 水上）

発行所：埼玉県看護連盟

〒338-0011さいたま市中央区新中里3-3-8
埼玉地域看護研修センター内
TEL 048-824-8153 FAX 048-824-8166
<http://www.kango-saitama.jp/>
発行責任者 佐藤 澄子
印刷所 株式会社アサヒコミュニケーションズ
TEL 048-541-5152



ぐっすりが、いちばんのくすり。



EDEL
エーデル
2015 collection

TUK 東洋羽毛北関東販売株式会社
埼玉営業所 ☎ 0120-223062
〒362-0017 埼玉県上尾市ニツ宮 963-3